

学生の皆さんへ

学志舎はとにかくアットホームです。

勉強や進路など、

どんな悩みでも一緒に考えて支えてくれる、

心強い塾長・事務長・コーチ陣がいます。

勉強の取り組み方がわからない人、

進路について悩んでいる人、

ぜひ学志舎に来てください！

私たちが支えます！

力を何%出せたのか？ 自分で採点する。

点数よりも、大切なものと教えています。

学志舎では教師のことを「先生」ではなく「コーチ」と呼びます。
「コーチ(coach)」とは「馬車」の意。
ひいては「大切な人を、その目的地まで送り届ける」という意となります。

彼女と初めて会ったのは高1の時でした。
最初の印象は「まじめそうだけど、人見知り？」
実際にマンツーマン授業で話をすると「芯の強い子だな」と思いました。
担当となった当初は、進路で少し悩んでいました。
親御さんの思う進路と違っていたのです。
しかし、「学校の先生になりたい！」という思いは強くそれに向かってまっしぐら。
親御さんもそんな彼女の応援団になってくださいました。そして大学には余裕で合格。
私と同じ大学、同じ研究室、同じ教授のもと、現在も勉学に励んでいます。
彼女なら、きっと素敵な教師になれると思います。
この国の未来を作るのは子どもたちです。
その子どもたちに関わる私たちの責任は大きいと思います。
共に学び続け、子どもたちのために頑張りましょう。
これからも輝き続ける莉聖ちゃんのでいてください！

担当コーチ A 岐阜県在住 教師

今年の春から大学院に進学し、教員になるための勉強しています。

大学の時以上に自分から学ぶ姿勢が必要ですし、

より専門的なことを学ぶ難しさもありますが、

自分なりに努力して頑張っています。

これまでは、与えられたタスクをこなすことだけを考えていましたが、

大学院では積極的に学び、将来教員になった時に活かせるような、

自分の糧となるものを必ず身につけて卒業したいと思っています。

こうして今私が夢に向かって勉強することができているのも、

塾長、事務長をはじめ、コーチの方々など、多くの方の支えがあったからです。

将来の進路に迷っていた高1の春、私を担当してくださったAコーチに相談しました。

親身になって一緒に考えてくださったおかげではっきりと進路が決まりました。

今では、進む道が同じであるAコーチの背中を、ずっと追っています。

あの時学志舎でAコーチと出会っていなかったら今の道には進んでいないと思うと、

本当に出会いに恵まれたなと思います。

「学志舎での思い出」

センター試験の前日、私の携帯に卒塾した1年上の先輩方から多くの激励のメッセージが届きました。

さらに自宅にはお守りが。これには驚きとともに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

さらに当日は私が愛知県会場での受験だったため、

早朝一人岐阜駅の改札に向かっていて、「莉聖ちゃんおはよう!」との声。

振り向くと3年生の時に私を担当してくださった安藤コーチが笑顔で立っていました。

雪で足元が悪い中、朝早く駅まで応援に駆けつけて下さったことに涙がこぼれました。

たった1人の私のために、

それぞれが自分にできることを考えて行動して下さったことがすごく嬉しかったです。

普通の予備校とは異なる、一人一人の繋がりが深い学志舎だからこそ経験できたこと。

勉強だけでなく、『人の繋がりの大切さ』も学んだ高校時代でした。

卒塾生 杉山 莉聖 岐阜大学 大学院教育学研究科

「卒塾生 学志舎で語る」 vol.5

学志舎

智をつけよ そして人の為に使わせ



築100年の古民家



1F 小中学生教室



2F 高校教室

〒500-8085 岐阜市白木町92番地
【お問い合わせ】平日10:00～21:00

☎ 058-265-4562



<https://gakushisha.com/>

学志舎

検索